鳥取県PTA協議会　平成30年度活動スローガン

受け止めよう子どもたちを 応えよう子どもたちに

～背中で顔で、大人の本気見せましょう！～

鳥取県PTA協議会
会長　福壽（ふくじゅ）　みどり

新年度が始まり、半年以上が経過しました。運動会に文化祭、大きな行事の多くが終わったころでしょうか。この広報紙を読んでいただいているみなさま、「わが子の通っている学校のPTAだって、執行部がなにをしているかなんて知らないのに、郡P、市P、県P、日Pって、いったいだれが、なにをするところ？？？」という方が大半かと思います。できれば知っていただきたい。けれど、ご存知なくても、知らないうちにその恩恵に預かっている、そんな存在になるべく日々活動しています。

PTAはみんなの活動

通知表をもって帰れば、子どもの成績が気になる。個人懇談があれば、学校での様子が気になる。参観日は行きたいけど、そのあとの話し合いはちょっとめんどう。学校の行事より家族や気の合う仲間と過ごしたい。ごもっともです。でも、授業参観の後もう少し残れば…、学校の行事に参加すれば…、ふだん家族の前では見せないわが子の情報を、ほかの子どもたちから、ほかの保護者から知ることもできます。ひょっとしたら、子育てのヒントだって、持ち帰れるかもしれません。大切なお子さんの健やかな成長を支える活動、それがPTA活動です。

PTA活動は、仲良しグループ活動ではありません。先生方をはじめ、いろんな職業の、いろんな経験をもつ、いろいろと考え方のちがう大人の集まりです。問題をめぐって、意見が対立することも、もちろんあります。でも目指すところが同じなら、いき方は多様な方がおもしろいはず。「すべては子どもたちのために」という一点で、さまざまな異なる意見を、それぞれの立ち位置を尊重しながら、進んでいます。PTA活動は役員だけのものではありません。なかなか見えないですが、会員であるみなさんの一人ひとりの思いから成り立っています。

県Pって、なにをしているの？

鳥取県PTA協議会では、子どもたちに寄り添い、一人の子どもに表れた問題を、教育全体の課題ととらえ、みんなが楽しく、安心して学べる環境を整備していけるよう、毎年、鳥取県、そして鳥取県教育委員会に要望書を提出したり、教育委員会のみなさんと話し合いの場を設けたり、ときには県だけでなく、日本全体の教育課題と思われることは、日本PTA協議会と連携をとり、提言を行ったりしています。昨年度からは、親の願いは願いとして大切にしながら、その思いを押しつけないために、子どもたちの思いを知ろうと、少し名前は壮大ですが「こどもの、こどもによる、こどものための、こどもサミット」を開催しています。リスク回避とリスク管理はちがいます。子どもたちの意見を聞くことで、「転ばぬ先の杖」が、転んだことのない子の増産につながらないように、想像、空想だけの「リスク」を増大させない工夫も必要ではないだろうかと感じています。

子どもの成長を支えるために

子どもたちが失敗しないように、まちがわないように、ついつい先回りしてしまうのが私たち保護者です。子どもたちが思いどおりに育ってくれないと、ついついイライラしてしまうのが私たち保護者です。でも、子どもは保護者の所有物ではありません。子どもたちが一人ひとりの人生を思いっきり生きられるよう、その前に立ちはだかるのではなく、陰になり、日向になり、一緒に支える活動をしていきましょう。

まずは、今度の参観日、授業が終わっても、少しだけ残ってみてください。そして、困ったことがあれば、各学校の役員だけでなく、郡P、市P、県Pの役員にも声をかけ、相談してください。「なんでもすぐに解決します」とは言えませんが、しっかり話を聴き、じっくり一緒に考えます。

日本PTA全国協議会三行詩コンクール　佳作受賞!! おめでとうございます!!

すごいね、えらいね、ありがとう。
おかあさんのことばは　まほうのことば。
もっと、もーーーーっと　がんばりたくなる。

（鳥取市立瑞穂小学校　1年　渡辺陽春（わたなべあきは）さんの作品）

「楽しい子育て全国キャンペーン　三行詩コンクール」に多くの作品を応募いただきありがとうございました。鳥取県ＰＴＡ協議会からは、上記の作品が佳作として受賞されました。おめでとうございます。受賞にはなりませんでしたが家族の絆が感じられる作品がたくさんありましたので、一部をご紹介します。みなさんも、口に出すのは照れくさい家族への思いを、三行詩にしたためてみてはいかがでしょうか。

小学生の部

どんなときも　大切にしよう　世界に一つしかない命だから　（小6 男子）
ごめんねとありがとう　すなおに言えれば　家族円満　（小5 女子）
ぼくのうちでは　みんなそろってから　いただきます。（小1 男子）
いいことが、きっとありそう　わがやのルール　はやね、はやおき、えがおであいさつ。（小1 女子）

中学生の部

喜怒哀楽　共に味わう　愛のシグナル　（中3 女子）
簡単に「死ぬ」ことなんか考えないで。
　よく考えてごらん。　あなたの周りには幸せを願っている人がたくさんいるから。（中2 女子）
幸せな家庭に産まれて　大好きな人に出会えた奇跡　現在（いま）が宝物　ありがとう。（中2 女子）
いやな事があっても「おかえり」と笑顔で　迎えてくれる家族がいる　（中3 女子）

一般の部

「ぼくを生んでくれて　ありがとう。」と言ってくれた息子へ　母は心から感謝。「生まれてきてくれて　ありがとう。」（女性）
休みの日　お風呂からもれる　楽しげな声に　思わず私も笑みがこぼれる　（女性）
我が家の宝は地域の宝　深い絆でしっかり守る　見守り隊　（女性）
娘の髪を　結んで感じる　親子のきずな　（男性）
目に見えないけど　心の中にいつも感じる　家族の笑顔とあたたかさ　（男性）

2019 年も5～6月に三行詩コンクールの募集を行います。奮ってご応募ください。お待ちしております。

県PTA広報とっとり
平成30年11月30日
80号

CONTENTS

このロゴマークは八幡小PTAの中本優紀さんのデザインによるものです

【P1】
・県P会長あいさつ
・日本ＰＴＡ三行詩コンクール
【P2】
・平成30年度教育懇談会
・平成30年度鳥取県教育予算等に関する要望書と回答
【P3】
・ＰＴＡ指導者研修会
・日本ＰＴＡ国内研修事業
・ハートフルスペース
【P4】
・平成30年度鳥取県ＰＴＡ協議会総会
・平成29年度鳥取県ＰＴＡ広報紙コンクール
・第66回日本ＰＴＡ全国研究大会新潟大会

編集・発行
鳥取県PTA協議会

事務局
〒680-0846　鳥取市扇町21
県民ふれあい会館内
TEL:0857-21-2285
FAX:0857-21-0906
E-mail:tori-pta@gamma.ocn.ne.jp
http://www.tottori-pta.net/